



川永小学校だより

令和3年6月号



校長 沖平 渉

今年は、例年と比べて梅雨入りが早く雨の日が多いです。プールのそばに生えているアジサイももうすぐきれいな色に色づいてくるのではないのでしょうか。

4月の学級開きからスタートした新学年。5月になると声を掛け合って遊んだり励まし合ったりしている子供たちの姿が見られ、新しいクラスにも慣れてきたのだなと嬉しく思っています。外遊びの大好きな川永の子供たちは、梅雨の貴重な晴れ間には楽しそうに運動場で遊んでいる姿が見られます。

昨年度は行うことのできなかったプール水泳は、文部科学省や市教育委員会の指針を守りながら、今年度は行うことになりました。感染症防止に努めながら行いますので、ご理解ご協力よろしくお願いいたします。

さて、文部科学省は2019年12月にGIGAスクール構想を立ち上げ、全国一律のICT環境整備を進める施策を進めようとしています。GIGAとは、「Global and Innovation Gateway for All」の略で、「すべての子供たちにとってグローバルな人材・革新を起こせる人材になるための入り口」という意味です。

和歌山市においても今年度GIGAスクール構想の実現に向け、市内の小中学校に高速大容量の通信ネットワークの整備を行い、児童生徒一人一人に1台端末(パソコン)を全小中学校・義務教育学校に導入したところです。また、将来的には家庭学習や長期休業中の学習課題の取組として家庭に持ち帰ることも想定されています。

新しい時代に向けて、また、with コロナの意味もあって、この施策が進められてきたという背景もあります。

川永小学校でも、児童人数分のパソコンが入るキャビネットを教室に設置し、新しいパソコンを中に入れました。様々な形で授業で活用しようとしています。使用するにあたっては、活用のルールをきちんと整備し、安心・安全・快適に活用していくことが大切です。

和歌山市教育委員会では、「タブレット端末活用のルール」を定めて活用を進めようとしています。端末(パソコン)は、学校の授業や家庭学習のために活用することが目的で、学習以外のことでは使わないルールになっています。その他にも個人情報保護の問題もあり、使い方を整理して有意義な活用を目指していきたいと思っております。ご理解ご協力よろしくお願いいたします。

